

平成16年 1月27日

報道機関 各位

広島大学総務部大学情報室長
西田 良一

経営と技術の融合を目指して!

マネジメント特講III(マツダ商品開発の変革)の開講について

大学院社会科学研究科マネジメント専攻では、別紙のとおり、2004年度の開講科目として、マツダ(株)に在職する技術系幹部職員による「マネジメント特講(マツダ商品開発の変革)」を開講いたしますので、お知らせいたします。

【お問い合わせ先】

広島大学大学院社会科学研究科
マネジメント専攻

専攻長・教授 星野 一朗

TEL: (082)542-6980

(ダイヤルイン)

[発信枚数;A4版 2枚(本票含む)]

[「マネジメント特講III\(マツダ商品開発の変革\)」の開講について](#)

2004年1月26日

プレスリリース

マツダ株式会社による「マネジメント特講Ⅲ(マツダ商品開発の変革)」の開講について

[問合せ先]

星野一郎

(広島大学大学院社会科学研究科マネジメント専攻長・教授)

730-0053 広島市中区東千田町1-1-89 広島大学東千田キャンパス

Phone & Fax : 082-542-6980 (マネジメント専攻長室)

Email : hoshino@mgt.hiroshima-u.ac.jpURL : <http://www.mgt.hiroshima-u.ac.jp>

広島大学が広島市都心部において展開する社会人大学院である広島大学大学院社会科学研究科マネジメント専攻(本専攻の詳細については上記URLを参照のこと)は、同専攻の博士課程前期における2004年度の開講科目として、マツダ株式会社に在籍するおもに技術系幹部社員による「マネジメント特講Ⅲ(マツダ商品開発の変革)」を開講することを決定した。この科目は夏季集中講義形式で開講される予定である。なおこの科目は一般に開講されるものではない。

こうした科目展開は、現在話題にのぼることが多いMOT(Management of Technology)教育の一環として実施されるものである。この科目を開講することの意義は、社会人大学院生に対して、技術と経営の境界領域そしてそれらの融合を教育することにある。さらには、製造業が盛んな広島地域における産業連携や、地域経済にも貢献する可能性もある。

マツダ株式会社における本講義の取り纏め役は貴島孝雄氏である。同氏は現在、同社のプログラム開発推進本部第2プログラム開発推進室スポーツカー担当主査である。

今回の講義概要は下記のとおりである。

自動車市場はアジア地域の販売拡大が期待されるものの、商品に要求される魅力や品質の向上、環境対応、安全対応などによる商品コストや開発コストの増加を余儀なくされており、ビジネス効率の悪化に直面している。マツダはこれらの課題を克服するために、商品開発領域において、商品品質と開発効率の向上を目指し、デジタルデータを駆使し、さまざまな変革を遂げようと努力している。本講義においては、その一端を紹介・検討するものである。